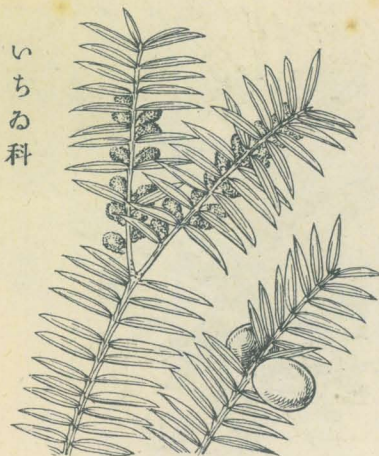


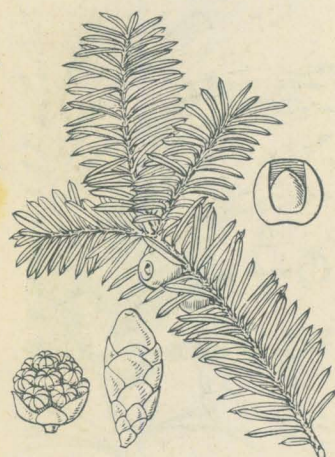
第 2728 圖

いちのり科



第 2729 圖

いちのり科



第 2730 圖

いちのり科



かや 古名かへ
Torreyya nucifera Sieb. et Zucc.
(=Taxus nucifera L.)

山地ニ自生シ又庭樹トシテ栽植セラルル常緑喬木ニシテ高さ20m、幹徑90cm、樹皮ハ平滑ニシテ青灰色又ハ黄灰色ト呈シ老木ニテハ縦裂シ薄片ト成リテ剝脱ス。葉ハ披針狀線形ニシテ先端漸鋭シ稍硬キ刺尖ニ終リ底部ハ急ニ狹窄シテ短小柄ト成ル。元來枝面ニ螺旋狀ニ着クト雖モ、振レテ枝ノ左右ニ展開シニ列狀ト成リ、長さ2-3cm、上面ハ隆面ヲ呈シ濃綠色ニシテ光澤アリ下面ハ二條ノ黄白色氣孔線アリ、中央ニ一維管束、其下ニ一樹脂道アリ。雌雄別株。四月ニ開花ス。雄花ハ腋生シテ枝ノ下面ニ並ビ黄色ニシテ長橢圓形ヲ呈シ苞鱗ニ三葯アリ。雌花ハ小枝頂ニ群着シ卵形ニシテ柄無ク數層ノ細鱗片アリテ中心ニ一卵子アリ。十月ニ至リ一種子ヨリ成ル果實成熟シ、橢圓形ニシテ長さ2-3cm、徑1-2cmアリ、初メ綠色、熟スレバ紫褐色ニ變ズ、外種皮ハ熟シテ白裂ケ、内種皮ハ堅クシテ赭褐色ヲ呈シ橢圓形ニシテ兩端尖リ縱溝アリ。種子中ノ胚乳ヲ食用トシ又油ヲ採ル。材ハ甚輕、將葉盤ノ材トシテ有名ナリ。變種ニつなきがや(=var. articulata Miyos.)・はたがや(var. nuda Makino=T. nuda Miyos.)・ひだりまきがや(var. macrosperma Makino=T. macrosperma Miyos.)・ちやほがや(var. radicans Nakai)アリ。和名かやハ古名ナルかへノ轉化ナリ、かやハ蚊遣リニ用フル故名ト云フハ俗説ナリ。漢名榧(慎用)、是レ蓋シ支那産ナル T. grandis Fortune. ノ名ナラン、我邦ノかやハ支那ニ産セズ。

いちのり
一名 あららぎ・おんこ
Taxus cuspidata Sieb. et Zucc.
(=T. baccata L. var. cuspidata Carr.;
T. baccata L. subsp. cuspidata Pilg.)

我邦北部並ニ中部諸州ノ深山ニ生ズル常緑喬木ニシテ又往々人家ニ栽植セラル。幹ハ直立分枝シテ葉多ク高さ20m、徑70cmニ達スル者アリ、樹皮ハ赤褐色ニシテ淺キ裂目アリ。葉ハ線形ニシテ上ノ枝トニハ螺旋狀ニ着クト雖モ側枝ニ於テハ振レテ左右ニ展開シニ列ヲ成シテ羽狀ヲ呈シ密ニ着キ深綠色ニシテ長さ1.5-3cmアリ、樹脂道ヲ缺ク。雌雄別株ナリ。三四月頃、雄花ハ小形ニシテ橢圓形ノ花穂ヲ成シ葉腋ニ開ク。雌花ハ葉腋ニ單生シ熟スレバ紅色肉質ノ假種皮ト成リ、假種皮中ニ綠色ノ核狀種子ヲ中央ニ藏スルニ至ル。假種皮ハ甘味アリテ食フベク、材ハ建築材・器具材等ニ常用セラル。和名ハ一位ニシテ古來此材ヲ以テ笏ニ作りシニ由リ位階ノ正一位從一位ニ比シ斯ク名ク、あららぎハ蓋シ其樹容ニ基キシ名乎或ハ其枝葉ノ疎密ニ由リシ名乎不明ナリ、おんこハ北海道ノあいの語ナリ。漢名水松(誤用)、水松ハ支那ニ産シテ日本ニ無ク其學名ヲ Glyptostrobus pencilis K. Koch(=G. heterophyllus Endl.; Taxodium heterophyllum Brongn.; G. sinensis Loder.)ト云ヒ好ンデ支那ノ水邊ニ生育ス。

きゃらぼく
Taxus cuspidata Sieb. et Zucc.
var. umbraculifera Makino.
(=Cephalotaxus umbraculifera Sieb.;
C. tardiva Sieb.; T. adpressa Gord.;
T. cuspidata S. et Z. var. nana Rehd.)

伯耆大山ノ山頂ニ多ク自生シテ密ニ繁茂シ又但馬水ノ山ニ少シク野生スレドモ、多クハ觀賞樹トシテ庭園ニ栽植セラルル常緑灌木ニシテ常ニ矮生ノ樹相ヲ呈シ横方ニ廣ガレリ。幹ハ一般ニ直立セズシテ地上ニ横斜スルヲ常トシ、高さ約1-2mアリ、幹ノ直徑15cm許ニ達スル者アリ。葉ハいちのりト相同ジク線形ヲ呈シ頂ハ鋭尖頭ヲ成シ深綠色ニシテ質稍厚ク無毛ニシテ密ニ枝上ニ互生シ略ボ二列生羽狀ノ狀ヲ呈セリ。雌雄異株ニシテ花ハ春月小枝ノ葉間ニ出デ細小ニシテいちのりト相同ジク、雄花ハ黄色ヲ呈セリ。果實ハ一種子ヨリ成リ、假種皮ハ杯狀ヲ成シテ綠色ノ種子ヲ擁シ赤熟シテ液汁多シ。和名伽羅木ハ此樹ノ材ヲ香料得ル伽羅樹即チたかとうだい科/Excoecaria Agallocha L.ニ擬セシ者ナリ。

いちゃう (公孫樹・鴨脚子)
Ginkgo biloba L.

(Salisburia adiantifolia Sm.)
落葉大喬木ニシテ高さ30m、徑2mニ達ス、樹皮ハ灰褐色ニシテ縦裂ヲ作シ、樹上特ニ往々粗大ナ氣根ヲ垂下シちちト稱ス。葉ハ長枝ニ互生シ短枝ニ叢生シ、扇形ニシテ稚樹ノ者ハ深ク二裂シ成葉ハ二淺裂或ハ不裂、而シテ更ニ不齊波狀ヲ呈シ、兩側ハ全邊ナリ、葉脈ハ數回分岐シ遂ニ平行シテ葉緣ニ終ル、深秋特ニ黄色ト變ジ落葉ス。葉柄ハ長ク往々6cmニ達ス。雌雄別株。雄花ハ四月ニ新葉ト共ニ出デ、雄花ハ柔荑花序線ヲ成シ雄蕊ハ縱裂スルニ葯室ヲ有ス。雌花ハ花梗ノ頂ニ通常二箇アリ、心皮ハ盃狀ニシテ其上ニ裸出セル卵子一箇ヲ着ク。春時花粉卵口ニ入レバ其體內ニ在テ漸次成育シ、秋時熟果ノ直前ニ當リ花粉ヨリ精蟲ヲ放出シテ破卵器ニ合シ遂ニ生殖ヲ遂グ。種子ハ核果様、熟スレバ外種皮黄色ヲ呈シ肉質ニシテ惡臭ヲ發シ、内種皮ハ堅硬白色ニシテ二乃至三稜線アリ、之レヲぎんなん即チ銀杏ト云フ、種子ノ特ニ葉上ニ生ズル者ヲ御葉着きいちゃう(var. epiphylla Makino)ト呼ブ。支那ノ産ニシテ昔時我邦ニ渡來シ今ハ邦内各地ニ栽植セラレ、盆栽・街路樹・庭園樹トシテ常用セラレ、仁即チ胚乳ハ食スベシ。和名いちゃうハ鴨脚ノ支那宋代ノ音ナリト大槻博士ノ大言海ニ謂ヘリ。

第 2731 圖

いちゃう科



第 2732 圖

そてつ科

そてつ (鳳尾蕉・番蕉・鐵樹)
Cycas revoluta Thunb.

琉球竝ニ九州南部ニ自生スト雖モ多クハ觀賞品トシテ栽植セラルル常緑樹ナリ。莖ハ單立或ハ叢生シ、粗大ナル圓柱形ヲ成シテ暗色ヲ呈シ、高さ1-4m許、全面ニ密ニ葉痕ヲ印シ又上部ニハ苞様物ヲ被リ頂端ニ葉ヲ簇生シテ四方ニ擺開セリ。葉ハ巨大ニシテ質硬ク、羽狀ニ分裂シ多數ノ線形小葉ハ互生シテ左右ニ排列シ、濃綠色ニシテ光澤アリ、先端漸鋭尖、一條ノ中脈ヲ有ス。雌雄別株。夏月、雄花ハ莖頂ニ松毬狀ヲ成シテ直立シ長さ50-60cm、幅10-13cm内外ノ長圓壘形ヲ成シ、鱗片ノ下面ニハ多數ノ葯ヲ着ケ花粉ヲ出セリ。雌花ハ莖頂ニ多數叢生シ、下部柄狀ノ兩側ニ三乃至五ノ無柄卵子ヲ着ケ、上部ハ黄色密絨毛ヲ被ル羽狀部ト成ル。此種モ亦精蟲ヲ生ズ。種子ハ略ボくるみ大ニシテ稍扁平シ、外種皮ハ光澤アリテ朱紅色ヲ呈ス。莖ヨリ澱粉ヲ製シ、又果實ヲ食用トス。和名そてつハ蘇鐵ノ意ニシテ此者衰弱シテ枯レントスル時ハ鐵屑ヲ肥料トシ或ハ鐵釘ヲ打挿セバ乃チ復活スト謂ハルルヨリ此名アリ。

